

令和5年度 社会福祉法人めだかすとりいむ事業報告

【法人の理念と運営方針】

理念 『せっかく生まれてきた一度きりの人生をこの街の中で一緒に豊かに生きていきたい』
この想いを具体的に一つ一つ形にして支え続けていきます

運営方針

- ・就労支援・ ・一生懸命に働くことを通しての社会参加を支える
- ・生活支援・ ・地域の中で自分らしく豊かに暮らすことを支える
- ・余暇支援・ ・好きなこと・趣味を見つけて楽しむことを支える
- ・子育て支援・ ・発達の遅れや心配のある子供たちの療育と地域の中での子育てを支える

この4つの支援を充実させることによって、障がいのある方の地域での生活を支えていきます

令和5年度 重点目標の振り返り

『経済状況の回復』

授産製品の原材料や水光熱費の高騰などにより経営状況が懸念されておりました。

支援費の増収、就労支援収入（すいーつばだけ売り上げ）の増加があり、法人全体の収支は回復傾向にあります。

また、太陽光発電の導入により水光熱費の支出減を更に見込める予想です。

『障がいのある人のライフステージにあった支援の充実』

すいーつばだけ利用者の高齢化、それに伴う障がいの重度化について職員会議で問題提起をしました。各所と連携をとりつつ、一人一人にあった支援をしました。

GHでは365日運営に向けての取り組みがスタートしました。人材確保など体制を強化し、どの人も地域で安心して暮らせる支援を法人として考えました。

また、親なき後勉強会を開催し、保護者と共に高齢化を考える機会を設けました。

幼児、学齢期、青年期のどの時期においてもその人らしく生活することを支えるために引きつづき研修を重ねていきます。

1. 社会福祉法人の運営

- ① 令和5年度は、法人全体や各事業所の課題について話し合いました。
- ② 太陽光発電の導入、助成金申請の検討など支出を抑えるための取り組みをしました。

2. 人材育成、研修

- ・保護者向け勉強会『親なきあと勉強会』 令和6年2月19日開催 場所：樹里安会議室
講師：渡部伸氏 参加人数：70名 参加者：父母、きょうだい、本人

- サポーターズカレッジの活用
部門別の他に、階層別にテーマを決めて研修を実施
- 正職員個人面談の実施
11月～実施
- 資格取得制度を利用し、国家資格に1名合格
- 外部研修
実践交流会、福祉施設安全セミナー、文書作成・報告の仕方 ほか研修に参加
- 法人全体虐待防止研修 8月に実施
- 計画的にサービス管理責任者、児童発達支援管理責任者の養成研修に参加

3. 虐待防止委員会・身体拘束化委員会の開催

- 虐待防止委員会の開催（9. 3月）
メンタルヘルスの周知、虐待防止アンケートの実施
- 身体拘束化適正委員会も併せて開催し、施設内での点検を実施

4. 理事会・評議員会、運営協議会

令和5年6月に新理事長体制に代わりました

【理事会】

	開催日	審議事項
第1回	令和5年6月9日	令和4年度事業報告 令和4年度決算報告 令和4年度監事監査報告 クッキー工場増築工事契約について すいーつばだけ運営規定変更について 相談支援センターめだか運営規定変更について 役員などの賠償責任保険について
第2回	令和5年6月28日	新理事長選任について
第3回	令和5年11月30日 (文書理事会)	太陽光パネル設置工事業者選定について
第4回	令和6年3月21日	令和5年度最終補正予算案 令和6年度事業計画案 令和6年度給食業者選定 令和6年度予算案

【評議員会】

	開催日	審議事項
第1回	令和5年6月28日	令和4年度事業報告 令和4年度決算報告 令和4年度監事監査報告 新理事、新監事選任について
第2回	令和6年3月28日	令和5年度最終補正予算案 令和6年度事業計画案 令和6年度予算案

【運営協議会】

11月11日開催

5. 事業所別

すいーつばだけ

- 3名の新規利用者（うち1名は退所）
- 利用者工賃⇒年度当初7割支給から年度途中から10割支給
- 年度末手当も支給
- 授産部門の設備、備品の購入（交換）計画及び修繕計画を作成
- JKAの助成金申請（厨房機器一式）
- クッキー工場の増築工事の実施 7月～
- 作業の効率化と利用者の休憩室の確保
- 各部門メンバー研修の実施
 - クッキー・・・ソラマチ
 - パン・カフェ・・・緑の風福祉会
 - 木工・・・東京おもちゃ美術館

グループホーム

- 『メゾンめだかさくら館』の土日運営が本格的に始まる
- 様々な課題（医療、金銭管理、成年後見など）に対し必要な支援の実施
- 社会福祉法人ひらく会（川口市）へ研修
- 『メゾンめだか沙羅の木』『メゾンめだかオリーブの木』の令和6年度土日開所に向けて人材確保や体制づくりの実施
- MICSの利用、各ホームの工夫で余暇の過ごし方が充実する
- 世話人の人材確保が大変厳しい状況

相談支援センターめだか

地域に根差したより良い相談支援を実施

地域活動支援センター「めだかSUN」

他事業所との連携を図りながら、障がいのある人の豊かな生活を支援
押し花の売り上げ増を考え、新商品の開発を開始

居宅介護事業所「ぐー・ちょき・ヘルパーMICS」

依頼時間数の回復

依頼時間数（月）目標 200 時間のところ、平均月 170 時間依頼数まで回復

児童発達支援事業「めだかのいっほ」

- 利用児童が増えず、年度未登録児童7名
- 利用児童募集のためのHPの開設をすすめる
- 言語聴覚士による勉強会を開催
- 理学療法士坂下学先生のご逝去により、体操教室が休止となる
- きょうだい保育・親子登園の見直し

放課後等デイサービス「めだかのいえ」

- 新規利用児童を新たに増やし、一日平均利用児童が10名を満たすように取り組む
- 送迎に関して、運転手交代制やミーティングでの安全運転項目の確認などを行う
- 家族イベント（トランポリン体験、夏祭り）の実施
- 車両用子ども置き去り安全装置（ココール）を全車両4台に装備

6. 地域との結びつき

- じゃがいも収穫祭⇒令和5年6月3日開催予定だったが、雨天のため中止
- 小学生福祉教育⇒令和5年8月1日開催。講師：山下敏夫氏
ふくしの話、ブルーベリー狩りの体験

7. NPOめだかふぁみりいとの連携

令和5年度もNPOめだかふぁみりいと連携をとりながら、障がいのある人の余暇支援や地域とのつながりを大切にする活動をしました。